

令和2年度事業報告書(第12回)

1 事業の実施報告

令和2年度の事業は「新型コロナウイルスの感染拡大防止」のため、活動場所がフィリピンであるのですべての事業は活動が出来なかった。

国内の活動も南山大学をはじめ大学内でのボランティア募集説明会や各大学の学生リーダーなどとの打ち合わせ会を十分に時間をかけて準備しなければならない。しかし、大学の閉鎖により学内に入ることすらできなく活動を予定しても開催することが出来なかった。

そのため、以下の事業計画はすべて活動を中止した。

- (1) 2021年学校等教育施設の建設事業とその関連活動
- (2) 2021年栄養障害児救済事業とその関連活動
- (3) 2021年ボランティア派遣事業と募集関係活動

持続化給付金の報告

政府の「持続化給付金」の支給対象に特定非営利活動法人も活動内容によっては対象になることを知り内閣府の指定会場に出向いて指導を受け書類作成、整備の上申請した。

当法人は事業の性格から売上高がない法人であるが決算書をもとに「受け取り会費」「受け取り寄付金」「ボランティア派遣事業収益」を認めてもらい上限いっぱい2,000,000円の給付金を認めていただいた。

クラウドファンディングによる2022年学校建設費寄付金確保活動

2022年2月に建設開始予定のブラカン州の学校「バラグタス・セントラル・エレメンタリー・スクール」は敷地が周辺道路より40センチほど低い。そのため、学校敷地に降る雨や生活用水の排水が道路にある排水管には流れない。従って、建設する校舎はそれ以上の高さに盛り土する必要があるということが判明した。

盛り土の費用を加えると総工費が予算を約500万円不足することも分かった。手持ち資金もない。

予算不足を補うために「クラウドファンディング」という有償の寄附金募集制度を利用し、目標金額500万円を設定。寄付金を一般から募集することを理事会で決定し活動を開始した。

活動結果は目標500万円に対し5,165,000円の寄付金を確保が出来た。

クラウドファンディングはめでたく成功した。

主な協力者は

- ① RASAの会員、賛助会員の方
- ② 日頃から寄附支援をいただいている方
- ③ ボランティア活動に参加されたOB,OGの方
- ④ クラウドファンディングのチラシ、ホームページ、中日新聞、朝日新聞の読者を中心に呼びかけ

寄付金を募ることとした。特筆すべきことは、「一般財団法人タイム技研社会貢献委員会」から思いがけない多額のご寄付をいただき目標額達成に大きく寄与した。

活動期間は2020年12月1日から2021年2月5日までの66日間活動した。

クラウドファンディングで得たこと

クラウドファンディングの活動は思わぬ副次効果をもたらした。

今度の募金活動を通じてRASAの活動内容を知り、幾人かの寄附者が新しい会員になっていただくきっかけができた。

新聞記事が前出の一般財団法人理事長の目に留まり、RASAの人道支援活動が理事長の目指している社会貢献活動と通じ合い、思いがけない大きな寄付につながった。しかも、今後10年間に亘って団体会員10口の約束がいただけたことはかけがえのない大きな出来事である。

ボランティアOB、OGが就職、結婚、転勤、転職などで連絡先が途絶えていたが寄附金募集活動によって消息が判明した。

クラウドファンディングによってOB,OGの新しい住所などが判明しOB,OGのネットワーク再構築に必要な情報が把握できた。新たな活動組織にも役立ちRASAの活動がより活発になる効果も生まれた。

2 会 議 に 関 す る 事 項

通 常 総 会

開催日時及び場所

開催日時 令和2年5月16日10時から11時30分まで

開催場所 当法人会議室（カトリック平針教会会議室から変更）

新型コロナウイルス感染拡大防止のため名古屋市市民活動推進センターのアドバイスを受け
書面審議による議決としたため委任状による出席者が増え広い場所の必要がなくなった。

議 題

- 第1号議案 令和2年度事業報告
- 第2号議案 令和2年度決算報告
- 第3号議案 令和3年度事業計画
- 第4号議案 令和3年度予算
- 第5号議案 任期満了に伴う役員の選任

理 事 会

開催日時及び場所

令和2年5月16日9時から9時30分まで

当法人会議室

議 題

当法人令和2年度（第11回）定時総会開催と提出議題について

月 例 会

開催日時及び場所

- ・毎月2回（原則として第2土曜日及び第4土曜日9時30分から11時30分まで）当法人会議室で開催
- ・理事会に準ずる位置づけとし決議事項は理事会決議とする。議事録を残す。
- ・議題は、各理事が担当する職務の課題を協議して解決を図ることを主に、情報の共有を行い常に共通認識を持つようにしている。
- ・会議の構成メンバー

理事及び理事長が指名した者

2020年の主な協議事項

- ・寄付金確保活動について（主に企業へのアプローチ）会社四季報による寄附依頼企業の抽出・リスト化
- ・コロナ禍の2021年度活動計画の見直し
- ・持続化給付金の申請
- ・2022年建設学校の選定協議・・・フランシスコ・バラグタス・メモリアル小学校とバラグタス・セントラルスクールとを協議しバラグタス・セントラルスクールに決定
- ・2022年学校建設費附則問題をクラウドファンディング活用で補う活動・・・プラットホーム選定と活動タイプの決定、スケジュール立案と活動の展開
- ・フィリピンのコロナ禍の現状報告（フィーディングプログラムと現地実情報告）
- ・学生リーダー選出と会議方法の検討（学校の使用禁止によりオンライン会議）・・・各大学代表とのコンタクトとモチベーションの維持
- ・ホームページの定期リニューアル
- ・大口支援者訪問によるお礼とその報告・・・「手を貸す運動II」「タイム技研」
- ・ステファニ・レナト賞受賞活動・・・受賞者は1社のみ（最終選考会で落選）
- ・2022年学校建設活動地の現地情報把握・・・メールによる現地との情報交換と収集
- ・サウスビルワン小学校の校長人事異動に伴うこれからの給食活動の進め方、再開後の契約書交換準備